

公民館だより なかがわ

第499号

令和6年6月6日

発行 中川地区公民館

TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

「多肉植物の 寄せ植え教室」

日時：7月16日（火）10:00～11:00頃

場所：中川地区公民館 集会室

講師：東根福祉会 こすもすの家

持ち物：汚れても良い服装（エプロン）
飲み物

材料費：1,000円

対象：中川地区民

定員：先着15名程度

締切日：定員になり次第締め切り

※季節により多肉植物の色や
器が変わりますので、同じで
はありませんが、このような
寄せ植えになります。



参加者募集

中川地区 さわやかコンサート 「山形県警察音楽隊」

日時：7月6日（土）

開場 10:00 開演 10:30～

場所：中川小学校 体育館（※内履き必須）

入場料：無料

対象：年齢問わず 中川地区民80名程度

◎6月28日（金）まで電話または来館にて
お申込み下さい。

※詳しくは、地区回覧チラシをご覧ください。

※令和4年度の
コンサートの
様子です。



お申込み・お問合せ：中川地区公民館（☎679-2501）

6月・7月 行事予定



6/3(月) 三者会、中川地区会長会
6/4(火) 食改主催「笹巻作り講習会」
6/6(木) 市報、館報
6/7(金) パソコンクラブ、公民館職員合同研修会
(職員不在時間帯あり)
6/8(土) 蔵王山頂清掃とつつじ祭り
6/11(火) 一般講座「みそ作り教室」
6/13(木) 自衛消防訓練
6/17(月) ～19(水) 笹巻き宅配事業
6/20(木) 福祉村だより編集委員会
6/21(金) 防犯協会中川支部幹事会
6/23(日) ウォーキング教室（協会）
6/25(火) そば打ち教室
6/28(金) 粋いき倶楽部（職員不在時間帯あり）

7/1(月) 市報、館報
7/2(火) 三者会、中川地区会長会
中川地区路線バス対策協議会
7/5(金) パソコンクラブ
中川地区活動事業補助金審査委員会
7/6(土) さわやかコンサート
7/9(火) そば打ち教室
7/12(金) 粋いき倶楽部、体育部会
7/16(火) 一般講座「多肉植物の寄せ植え教室」
7/17(水) ～18(木) 会長会研修旅行
7/23(火) ウォーキング教室（職員不在時間帯あり）
7/28(日) 中川地区夏の安全パレード
7/30(火) わんぱく広場

グラウンド・ゴルフ愛好会
(月曜日) 6/3、10、17、24
詩吟教室（火曜日）6/4、11、25

ラージピンポン愛好会（木曜日） 6/6、13、20、27
スポーツ麻雀愛好会（木曜日） 6/6、13、20、27

里山ウォーキングときのこ作り体験教室

5月1日（水）中川小学校3年生との、ふるさと学習『里山ウォーキングときのこ作り体験教室』が開催されました。上山市地域づくり推進員の武田さん、テラポイト協会の渡辺さんと山口さんを講師に迎え、準備体操と注意事項の話を聞き、いざ出発！！足取り軽やかに歩きやすい季節の中、地元高野の里山の自然を感じ、やまびこに会える丘に到着。今年は四方の方角へ元気な声で『ヤッホ！！』。東側の方角から聞こえたやまびこに、児童の皆さん『聞こえた〜』『凄〜い』と喜んでいました。

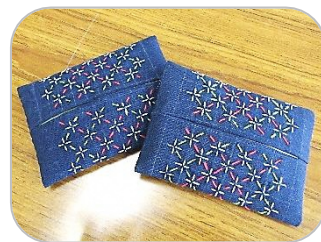
後半は公民館に戻り、中川地区会長会会長の佐藤さんと公民館館長に教えてもらいながら、きのこの植菌体験です。くるみの木の原木にドリルで穴をあけ、なめこの菌1駒を差し込み、木づちで叩いて埋め込んでいく工程です。ドリルの使用は勿論初めてですが、いざ体験をするとなると顔が引き締まり真剣に取り組んでいました。駒の打ち方が上手でスムーズに進んでいきました。

最後に児童の皆さんから感想をいただき、『クアの道を初めて歩いたけど楽しかった。』『ドリルは怖かったけど、菌を打つのが楽しかった。』などと、たくさんの感想をいただきました！秋になめこがたくさん出ることに期待して祈るばかりです。



【一般講座】「刺し子教室」

5月7日（火）一般講座「刺し子教室」が開催され、昨年は「コースター」でしたが、今年は少し難しい「ポケットティッシュケース」に挑戦しました。講師は昨年に引き続き、高木 直さん（山形大学名誉教授）です。型紙、布、糸、針が入ったキットを準備していただき、わからないところは先生に聞きながら作成していきました。同じ間隔で刺し子をしていくのがとても難しく大変でしたが、一針一針丁寧に刺して、素敵な模様のポケットティッシュケースが出来上がり、充実した時間となりました。



第1回主事部会

5月10日（金）第1回主事部会が開催され、主事部主催である「さわやかコンサート」の準備、役割分担などの話し合いが行われました。今年度の「さわやかコンサート」は、7月6日（土）中川小学校の体育館にて、「山形県警察音楽隊」による演奏になります。地区の皆さんの多数のご来場をお待ちしております。



防犯協会中川支部総会

5月17日（金）防犯協会中川支部総会が開催され、事業計画、予算案について協議し、役員の選出が行われました。今年1年間どうぞよろしくお願いいたします。



令和6年度「中川粋いき倶楽部」開講式

5月17日（金）令和6年度中川粋いき倶楽部の開講式が開催されました。今年度は新しい方が5名入会され、会員26名での活動となります。開講式では、来賓の中川地区会長 佐藤 友治会長よりご挨拶をいただき、その後、今年度の事業予定・予算案の承認を得て、会員さんお一人ずつ自己紹介をしていただきました。

後半は、米沢ヤクルト販売(株)より講師の三瀧 尚美さんをお迎えし、「免疫力について」のテーマでセミナーを開催しました。知っているようでよく知らない免疫力について、またこれからの季節で注意しなければならない熱中症についてもわかりやすく教えていただきました。年齢とともに低下していく免疫力を高めるには、食事、睡眠、運動などの生活習慣の見直しや腸内環境を整えることが必要になります。また、熱中症対策で水分の取り方など詳しく教えていただき、最後に楽しく脳トレをして終了となりました。

中川粋いき倶楽部は年9回の事業を予定しております。多くの会員の皆さんが楽しく参加していただけるような学び・交流の場を提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



第32回中川地区グラウンド・ゴルフ大会

5月26日（日）に令和6年度中川地区公民館体育部主催の『第32回中川地区グラウンド・ゴルフ大会』が開催されました。一般チーム、小学生・中学生チーム合わせて10チームに分かれて行われ、館長の試技で競技開始です！最初は緊張していた様子の子供達も、徐々に楽しそうな笑い声が聞こえてきました。コツを掴むのがとても早く、プレーする毎に上手になっていました。一方、毎週のように公民館の広場で練習している一般の方々は、さすが!!なプレー続出で、ホールインワンもたくさん出ていました。いつもとは違い、お孫さんや子供たちと一緒に参加することで、普段よりも楽しくプレーしていただけたのではないのでしょうか？心地良い5月の天候にも恵まれ、日頃の練習の成果をたくさん発揮出来たのではないかと思います。

お忙しい中、お手伝い頂きました体育委員、地域づくり推進員、子ども会育成会、そして付き添っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。来年度も開催できるよう公民館、体育委員ともに協力し進めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



一般の部



大会結果



児童の部



優勝 佐藤 敬一さん
準優勝 木村 笑子さん
第三位 佐藤 吉光さん

優勝 江口 悠大さん
準優勝 小林 璃空さん
第三位 山田 零穂さん



おらほの中川へ地域の話題シリーズ 第百八十八弾

「昭和考、問わず語り（その40）」

関東軍は、満州事変後、満州東北部への進攻を続けましたが、一方では、満州国の建国に向け着々と工作を進めます。本稿では、そつした満州国建国に向けた関東軍の行動について記述します。

〈満州国建国構想の密議〉

関東軍参謀・石原莞爾中佐は、「世界最終戦争論」という独自の構想をもち、次のように考えていた。「西洋文明の覇者たるアメリカと、東洋文明の覇者たる日本がいずれ最終戦争を引きおこす。それは消耗戦、持久戦になるだろう。天然資源に乏しい日本は、そのため満州・蒙古を領有し、これに備えなくてはならない。」

すなわち満蒙の日本領土化である。これには、廃帝・溥儀を引っ張り出す必要は全くない。しかし、そういう性急な領土化案は、東京の陸軍中央部から反対を受ける。奉天特務機関長・土肥原賢二大佐も別の案を主張した。

満州事変後の九月二二日、奉天に移った関東軍司令部の一室で、次のような「満蒙問題解決案」が決められる。出席者は、土肥原大佐、板垣大佐、石原中佐、片倉大尉の四名であった。

「我国ノ支持ヲ受け東北四省及蒙古ヲ領域トセル、宣統帝ヲ頭首トスル支那政権ヲ樹立シ、在満各民族ノ樂土ヲラシム」

事案発生から四日後、初めて溥儀の担ぎ出しが打ち出された。これに従い、天津の支那派遣軍司令部に「溥儀を保護下におくように」と打電された。

しかし、この時は満州国の建設とまでは言わず、あくまでも中国国内の地方政権と規定されていた。

その後更に密議を重ね、一〇月二日には、更に突っ込んだ内容となった。

「満蒙ヲ独立国トシ、之ヲ保護下一置キ、在満蒙各民族ノ平等ナル發展ヲ期ス」（満蒙問題解決案）

中央の蒋介石政権から独立した国家を打ち立てるというものであった。

しかし、東京の軍中央は、溥儀の担ぎ出しには未だ賛成していなかった。九月二九日、杉山元陸軍次官は、「関東軍司令官が宣統帝擁立運動に關係している噂があるが、軍は絶対關係ないよう注意されたし」と打

電してきた。

こうした陸軍首脳部の「弱腰」に対し、石原中佐らは強硬手段でこれに答える。一〇月八日、錦州爆撃を実行したのである。

さらに一〇月二五日、板垣、石原、片岡らは、「満蒙問題解決の根本方策」をつくりあげる。

「支那本土と絶縁し表面支那人により統一せられ、其の実権を我方の手裏に掌握せる東北四省並内蒙古を領域とする独立新国家を建設する」

その国家が日本の（あるいは関東軍の）傀儡国家であることを明確に規定したのである。本庄関東軍司令官もこれに署名し、東京の陸軍大臣、参謀総長あて意見具申として打電された。この決定の二日後、廃帝・溥儀の冷出馬を願うため土肥原大佐が天津へ向かった。

〈溥儀は、皇帝就任を条件に日本に従う〉

溥儀（写真①）は、三歳で清朝の皇帝・宣統帝に就ぎ、栄華の日々を送ったが、辛亥革命の勃発（一九一一年・明治四四年）により六歳で退位した。

その後「皇室優待条件」により手厚い保護を受けたが、一九歳の時、北平（北京）の紫禁城から追放されたため、平民の身分に落ちて日本公使館に身を寄せた。

一九二九年（昭和四年）七月には、天津の日本租界に移り住み、君主に戻ることを夢見て過ごした。

そんな折りに昭和六年九月一八日、満州事変が発生し、溥儀は胸の高鳴りを覚え、側近は「いすれ日本が陛下を迎えに来るでしょう」と進言し、その時機はそう遠いことではないと思っていた。

一月二日、土肥原大佐が溥儀のもとを訪れ、「すみやかに祖先発祥の地に帰り、新国家の指導に当たるよう望む」と説得した。

溥儀は、「その国家は、共和制か、それとも帝政であるか」と反問、土肥原は「もちろん帝國です」と言って「皇帝の地位の確約」で、溥儀を担ぎ出した。二五歳の溥儀は、満足し満州に行くことを承諾した。

〈事変五ヶ月後に独立宣言〉

溥儀の連れだしに成功したものの、その先の

甲石地区 高橋 正之

計画はほとんど進んでいなかった。

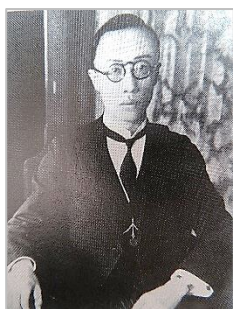
満州全土を制圧しなければならぬが、それもまだ成就していなかった。六年十一月一九日にチチハルを、七年一月三日錦州を占領したが、抵抗を続ける軍が残っていた。

国際的にも、溥儀の動静の関心が高まっており、陸軍中央も「……ここ暫く溥儀をして……政権問題に關係せしめざる如く一般を指導せられたし」（六年一月一日一五路南陸相からの電信）と表舞台に立たせないよう強く指示した。

そこで関東軍の板垣大佐は、列国の目を満州からそらすため、上海で騒乱を引き起こさせた。一月一八日、日本人僧侶五人を中国人数十人に襲撃させた（日蓮宗僧侶殺傷事件）。これをきっかけに、日中両軍が衝突し、上海事変につながっていく（一月一八日から三月三日）。そうするうちに二月五日、軍閥・張景惠の支配するハルビンに関東軍が占領。馬賊出身で難物であった馬占山も七日にはハルビンで帰順し、新国家の建設をスタートさせる土台ができた。

一月五日から二二日、軍中央で幕僚会議を開いたあと、一六、一七日の両日、馬占山、臧式毅、張景惠、熙洽の四名（写真②）の軍閥の実力者を集め、東北行政委員会の建国会議を開催。二月二八日、同委員会は「此より民国政府の官制を離脱し、東北省区は完全に独立せり」との独立宣言を発表した。満州事変後五ヶ月後であった。（「満州帝國の興亡」新人物往来社刊より。）

（次回は、満州国の政体、国連の動き等について記述する予定です。）



（写真①）



（写真②）